

令和2年9月1日

第1回後期高齢者医療制度保険者インセンティブ評価指標見直しに係る実務者検討班

参考資料  
2

# インセンティブ指標設定の考え方について

## インセンティブ制度における評価指標の意義

インセンティブ制度の目的は、事業の取組や効果的な実施を促進し、最終的な事業の成果に結びつけることにある。

効果的な取組や体制づくりを評価すること、実現した成果を評価する枠組みが必要である。

インセンティブ制度の運営においては、合理的に評価することができる体系的な評価項目(指標)を構築することが重要なカギとなる。

## 成果とその要因をとらえる指標を考える視点

### PDCAサイクルで多く用いられる評価指標

- 成果とそれにつながる要因を以下のような視点でとらえる。

#### ストラクチャ(構造)

- 仕組みや、体制に対する評価

#### プロセス(過程)

- 目的や目標の達成に向けた過程や活動状況を評価

#### アウトプット (事業実施量)

- 事業の結果に対する評価

#### アウトカム(結果)

- 事業の目的・目標の達成度、また、成果の数値目標に対する評価

- 目標の達成に向かって体制が整備されているか、プロセスが適切に実行されているかどうかを計測する。
- 成果との関係が明確で、計測できる指標を重視する。

## 現状の評価指標（後期高齢者医療の例）

- 一つの評価指標について、実施体制（ストラクチャ評価）、実施の有無（プロセス評価）、実施市町村数等（アウトプット評価）で加点が行われている。
- 現状の評価指標では、アウトカム指標は後発医薬品の使用割合のみである。

保険者共通指標					後期高齢者固有の指標						
指標	内容	ストラクチャ	プロセス	アウトプット	アウトカム	指標	内容	ストラクチャ	プロセス	アウトプット	アウトカム
指標①	健診の実施及び健診結果を活用した取組の実施	○	○	○		指標①	データヘルス計画の実施状況	○	○		
指標②	歯科健診の実施及び歯科健診結果を活用した取組の実施	○	○	○		指標②	高齢者の特性（フレイルなど）を踏まえた保健事業の実施状況	○	○	○	
指標③	重症化予防の取組の実施状況	○	○	○		指標③	専門職の配置など保健事業の実施のために必要な体制整備	○	○		
指標④	被保険者の主体的な健康づくりに対する広域連合による働きかけの実施	○	○	○		指標④	医療費通知の取組の実施状況		○		
指標⑤	被保険者の適正受診・適正服薬を促す取組の実施状況	○	○	○		指標⑤	地域包括ケアの推進等（在宅医療・介護の連携、一体的実施等）	○	○	○	
指標⑥	後発医薬品使用割合 後発医薬品の使用促進		○	○	○	指標⑥	第三者求償の取組状況	○	○		